

No.	薬品名（会社）	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	レキサルティOD錠0.5・1mg（大塚製薬）	ブレクスピプラゾール	○統合失調症 ○うつ病・うつ状態 ○アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動	＜アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動＞ 通常、成人にはブレクスピプラゾールとして1日1回0.5mgから投与を開始した後、1週間以上の間隔をあけて増量し、1日1回1mgを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、1日1回2mgに増量することができるが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。 ＜他の適応は省略＞	0.5mg/¥128.7 1mg/¥241.8	院内 院外	内藤 (内科)
2	ウパシタ静注透析用25・50・100・150μgシリンジ（三和化学）	ウパシカルセトナトリウム水和物注射液	血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症	通常、成人には、ウパシカルセトナトリウムとして1回25μgを開始用量とし、週3回、透析終了時の返血時に透析回路静脈側に注入する。血清カルシウム濃度に応じて開始用量を1回50μgとすることができる。以後は、患者の副甲状腺ホルモン（PTH）及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1回25～300μgの範囲内で適宜用量を調整する	25μg/¥ 950 50μg /¥1,355 100μg/¥1,952 150μg /¥2,388	院内	中山 (透析)
3	コルスバ静注透析用シリンジ17.5・25・35μg（キッセイ）	ジフェリケファリン酢酸塩	血液透析患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）	ドライウェイト 投与量 45kg未満・ 17.5μg 45kg以上65kg未満 25.0μg 65kg以上85kg未満 35.0μg 85kg以上・ 42.5μg	17.5μg/¥2,971 25μg /¥3,609 35μg/¥4,341	院内	中山 (透析)

No.	薬品名（会社）	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	ベリキューボ錠2.5mg・10mg（バイエル）	ベルイシグアト	慢性心不全 ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。	通常、成人にはベルイシグアトとして、1回2.5mgを1日1回食後経口投与から開始し、2週間間隔で1回投与量を5mg及び10mgに段階的に増量する。なお、血圧等患者の状態に応じて適宜減量する。	2.5mg/¥130.5 10mg/¥398.7	院内 (用時) 院外	内藤 (内科)
2	エパデールEMカプセル2g（持田）	イコサペント酸エチル	高脂血症	イコサペント酸エチルとして、通常、成人には1回2gを1日1回、食直後に経口投与する。ただし、トリグリセリド高値の程度により、1回4g、1日1回まで増量できる。	2g/112.6	院外	内藤 (内科)
3	アイリーア硝子体内注射用キット40mg/mL（参天）	アフリベルセプト（遺伝子組換え）	○中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 ○網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 ○病的近視における脈絡膜新生血管 ○糖尿病黄斑浮腫 ○血管新生緑内障	＜中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性＞ アフリベルセプト（遺伝子組換え）として2mg（0.05mL）を1ヵ月ごとに1回、連続3回（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、通常、2ヵ月ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、1ヵ月以上あけること。・・・Etc	1筒/¥137,292	院内	松岡 (眼科)

削除決定薬剤

No.	区分	薬品名	薬効分類	備考
1	内用	オロパタジン塩酸塩OD錠5mg「サイ」	アレルギー性疾患治療剤	使用量減少、フェキファジン等あり
2	内用	ケイキサレートDS76%	高カリウム血症改善剤	使用量減少、カimet、カリア等あり
3	内用	コララン錠2.5mg	HCNチャネル遮断薬	使用量減少あり
4	内用	セリンクロ錠10mg	アルコール依存症 飲酒量低減薬	医師限定、処方登録医師不在
5	内用	ツム51潤腸湯エキス	漢方薬	使用量減少、麻子仁丸、大黃甘草湯あり
6	内用	ファムシクロビル錠250mg「トワ」	抗ヘルペスウイルス剤	使用量減少、バシコビル、アタリフあり
7	内用	メプチンミニ錠25μg	気管支拡張剤	使用量減少、カリア0.5mgで代用
8	内用	ユービット錠	ヘリコバクター・ピロリ感染診断用剤	カリア・ピロリ検査で使用しなくなったため
9	内用	イメンドカプセルセット・80mg（院外専用）	選択的NK1受容体拮抗型制吐剤	販売中止・後発あり
10	内用	ガストローム顆粒66.7%（院外専用）	胃炎・胃潰瘍治療剤	販売中止、カミド錠等代替あり
11	内用	オステラック錠200mg（院外専用）	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	販売中止、カリアあり
12	外用	ゼポラスパップ40mg	経皮鎮痛消炎剤	⇒使用量減少、フェルカパップ70mgあり
13	外用	スポンゼル	止血剤 滅菌吸収性ゼラチンスポンジ	販売中止経過措置 2026/3/31まで
14	外用	トプシムスプレー0.0143%（院外専用）	外用合成副腎皮質ホルモン剤	販売中止経過措置 2026/3/31まで
15	外用	ミルタックスパップ30mg（院外専用）	経皮鎮痛消炎剤	販売中止経過措置 2026/3/31まで
16	注射	トルリシティ皮下注0.75mgアオス	持続性GLP-1受容体作動薬	使用量減少、マツヤロ皮下注2.5mgアオスあり
17	注射	ライゾデグ配合注 フルクスタチ	インスリングルデク/インスリンアパルト配合溶解注射液	使用量減少
18	注射	ゾルトファイ配合注フルクスタチ	持効型溶解インスリンアパルト/GLP-1アパルト配合注射液	使用量減少

切替えによる削除薬剤（薬事委員会からの後発品変更薬剤及びお知らせを参照して下さい。）

No.	区分	薬品名
1	内用	ドンペリドン錠10mg「日医工」
2	内用	ネルボン錠5mg（院外専用）
3	内用	ラゲブリオカプセル200mg
4	内用	レスリン錠25mg
5	外用	キンダバート軟膏0.05%5 g
6	外用	デルモバート軟膏0.05%5 g
7	注射	エダラボン点滴静注液30mgバック「明治」
8	注射	オキサリプラチン注50mg・100mg「サト」
9	注射	ジーラスタ皮下注3.6mg
10	注射	プラリア皮下注60mgシリンジ1ml
11	注射	ランマーク皮下注120mg 1.7ml/瓶

※後発薬剤採用に伴う先発薬剤は院内在庫がなくなり次第、院内の入力は不可となります。

※経過措置期限切れとなる薬剤は期限日まで使用できますが製造中止となる薬剤も含めて市場での流通が困難となった場合や院内在庫終了時は入力不可となる場合があります。

No.	先発薬品名	会社	薬価	後発薬品名	会社2	薬価2	薬効
1	ネルボン錠5mg（院外専用）	アルフレッサファーマ	¥7.1	ニトラゼパム錠5mg「JG」	日本ジェネリック	¥5.7	睡眠誘導剤 抗痙攣剤
2	レスリン錠25mg	オルガノン	¥7.1	トラソドン塩酸塩錠25mg「アメル」	共和薬品	¥6.1	うつ病・うつ状態 治療剤
3	キンダベート軟膏 0.05%5g	GSK	¥69.0	クロベタゾン酪酸エステル 軟膏0.05%「イワキ」	岩城	¥81.5	副腎皮質ホルモン 外用剤
4	デルモベート軟膏 0.05%5g	GSK	¥73.0	クロベタゾールプロピオン 酸エステル軟膏0.05%「イ ワキ」5g	岩城	¥58.5	副腎皮質ホルモン 外用剤
5	イオパミロン注300 /20ml	バイエル	¥914.0	イオパミドール300 20ml 「F」	富士	¥1,394.0	非イオン性尿路・ 血管造影剤
6	ジーラスタ皮下注3.6mg	協和キリン	¥81,165	ペグフィルグラスチムBS皮 下注3.6mg「モチダ」	持田	¥57,967	持続型G-CSF製剤

先発薬品の院内在庫が終了次第後発薬品変更します。
院外処方では先発薬品の選択は可能です。

- 1 .切り替え薬品 （院内在庫終了次第切り替え、院外は切り替え後も使用可ですが製造販売中止予定の薬剤は市場での流通が困難となった場合は入力不可となる場合があります。）

No.	切替え前	⇒	切替え後	備考
1)	カナリア配合錠（院外専用）	⇒	カナリアOD配合錠（9/2発売予定・院外用）	切り替え予定
2)	ドンペリドン錠10mg「日医工」	⇒	ドンペリドン錠10mg「NIG」	製造中止
3)	ラゲブリオカプセル200mg	⇒	ラゲブリオ錠400mg	切り替え
4)	エダラボン点滴静注液30mgバック「明治」	⇒	エダラボン点滴静注液30mgバック「NP」	製造中止
5)	オキサリプラチン注50mg・100mg「サト」	⇒	オキサリプラチン注50mg・100mg「NK」	製造中止
6)	YDソリタT1号輸液200ml・500ml（後発）	⇒	ソリタT1号輸液200ml・500ml（先発）	製造中止
7)	YDソリタT3号輸液200ml・500ml（後発）	⇒	ソリタT3号輸液200ml・500ml（先発）	製造中止
8)	YDソリタT3号G輸液500ml（後発）	⇒	ソリタT3号G輸液500ml（先発）	製造中止
9)	ブラリア皮下注60mgシリンジ1ml	⇒	ブラリアHI皮下注60mgシリンジ0.5ml	切り替え
10)	ランマーク皮下注120mg 1.7ml/瓶	⇒	ランマークHI皮下注シリンジ120mg 1ml/筒	切り替え

2 .その他

- ・ エンブレル・エタネルセプト・メトジェクトのシリンジ製剤は院内院外削除する。（誤入力防止）
- ・ カナリア配合錠は次回薬審（11月）で院外削除予定（切り替え）
- ・ 次回の薬事委員会は、11月12日(水) 16：30に開催予定